

千葉県全域における ナガエツルノゲイトウの 分布調査と防除への活用

2025年11月7日

千葉県 環境生活部 自然保護課 生物多様性センター

桐澤 凜

ナガエツルノゲイトウとは？

特定外来生物

南米原産の多年草で、主に水辺・河川・陸上等に生育する抽水～湿生植物

- 花**
- ・ 葉の脇から花柄が伸びる
 - ・ 小さな花が集まった球状
 - ・ 4～11月開花



- 葉**
- ・ 鋸歯は細かく目立たない

- 茎**
- ・ ストローのように空洞で水に浮く



- 根**
- ・ 茎の節から発根
 - ・ 地上部が枯れても地下の根で越冬
 - ・ 地面をはうように伸び、1 m以上にもなる



ナガエツルノゲイトウによる被害

- **強い再生力**
→数cmの茎からでも発根可能
- **拡散力が高い**
→茎は千切れやすく、空洞のため水に浮く
- **強い侵略性**
→乾燥に強く、田畑や公園などにも侵入

→これらの特徴から、治水・利水施設、
農業被害、生態系への被害等を生じさせる



水路水面を覆ったナガエツルノゲイトウ



休耕田に侵入したナガエツルノゲイトウ

千葉県におけるナガエツルノゲイトウの確認

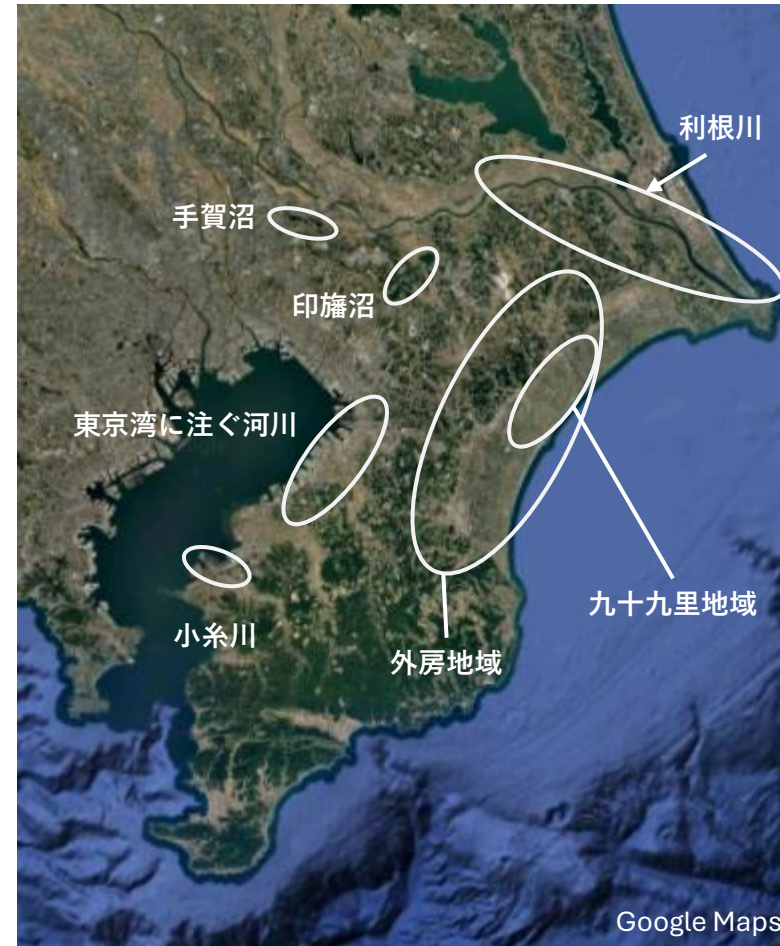
1990年 (H2年) 印旛沼で初確認
(2019年 印旛沼の全流域に繁茂域を拡大)

1998年 (H10年) 手賀沼で初記録
(2014年 手賀沼の全流域に繁茂域を拡大)

2018年まで (H30年まで) 九十九里地域の河川・水路に侵入
小糸川下流域にて大きな群落を確認

2019年秋 (R元年秋) 大雨に見舞われ、水田を含む流域の冠水地域が広範に及んだことより、手賀沼・印旛沼から断片が大量に利根川に流下

2021年まで (R3年まで) 利根川下流域
外房地域
東京湾に注ぐ河川



林 紀男 (2021)

千葉県におけるナガエツルノゲイトウ対策

ナガエツルノゲイトウ等対策庁内連絡会議を設置

(令和2年度設置。令和6年度は環境生活部・農林水産部・県土整備部の9機関)

① 防除

- (1) 県管理湖沼・河川における防除
- (2) 農業用排水施設の管理者、農業者、市民団体等による防除の支援

- ・ 印旛沼・手賀沼における駆除 (水質保全課)
- ・ 県管理河川における駆除 (河川環境課)
- ・ 駆除個体の処分への助言 (循環型社会推進課)

- ・ 市民団体による印旛沼・手賀沼における外来水生植物防除事業への補助 (水質保全課)
- ・ 農業関係補助金 (耕地課、農地・農村振興課)

② 調査・研究

- (1) 分布を把握、防除が必要な地域を抽出
- (2) 科学的なデータに基づく効果的な防除方法の検討、推進

- ・ **全県における分布調査** (自然保護課、中央博物館)
- ・ 農薬の情報提供 (担い手支援課)
- ・ 農地における対策に関する試験等 (担い手支援課)
- ・ 専門的助言 (中央博物館)

③ 普及啓発

- (1) 外来水生植物の問題への関心を高める
- (2) 識別方法、正しい防除方法の周知

- ・ 印刷物、イベント等による県民への周知 (自然保護課、中央博物館)
- ・ 印刷物、講座等による農家等への周知 (環境農業推進課、担い手支援課、耕地課)

ナガエツルノゲイトウの分布調査

千葉県内全域で、いま、どこにナガエツルノゲイトウが生育しているか？

①予察図を作成（令和6年1月～5月）

※予察図：

ナガエの生育が予測される地図

- ・衛星画像を解析
→河川等にはみだした植物群落を確認
- ・関係機関へアンケート
- ・専門家へヒアリング
- ・これまでの専門機関による調査等

②現地調査（令和6年8月～10月）

- ・予察図を基に現地調査を実施
- ・分布の有無、群落規模、種を確認し記録

③解析・まとめ

（令和6年12月～令和7年1月）

- ・繁茂状況を3段階評価

※評価は4次（500m）メッシュで実施

- ・大規模（2500m²/メッシュ）
- ・中規模（100～2500m²/メッシュ）
- ・小規模（～100m²/メッシュ）

④分布図（3種）の作成

- （1）累積分布図
- （2）詳細分布図
- （3）侵入可能性評価図

※分布図も
4次（500m）メッシュで作成

① 累積分布図

● 使用目的

- 分布地域（生育適地）としての注意喚起
（再繁茂モニタリング重点エリア）

● 表示

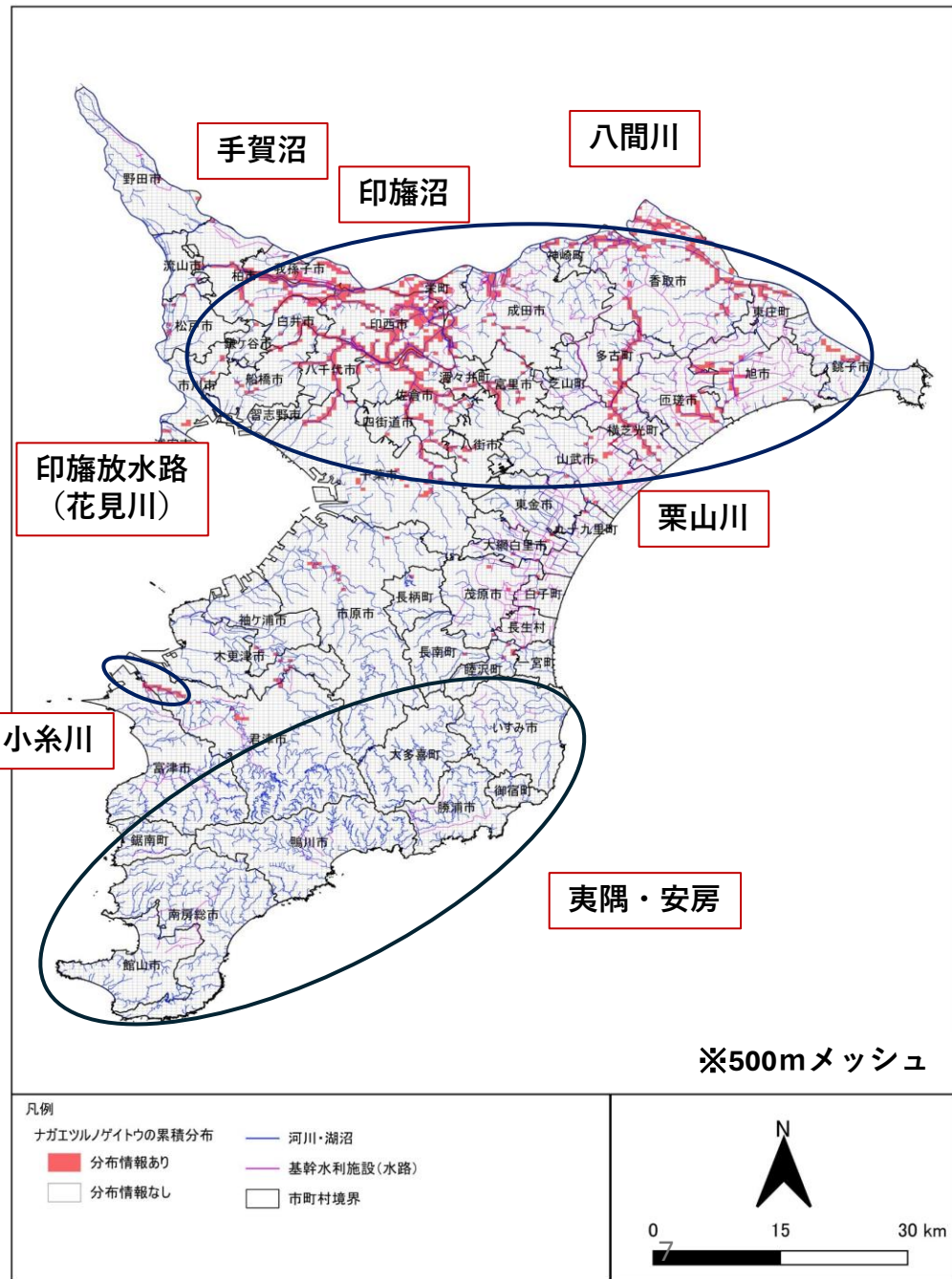
- これまでに分布が確認された全地点

● 使用データ

- R5年度までの確認結果
- R6年度の現地調査結果（8～10月）

● わかったこと

- 千葉県北部に集中
手賀沼・印旛沼とその周辺
香取地区北部の利根川下流域
栗山川とその周辺
- 小糸川とその周辺
- 千葉県南部では確認なし



② 令和6年度詳細分布図

● 使用目的

- 繁茂状況に応じた対策の促進

● 表示

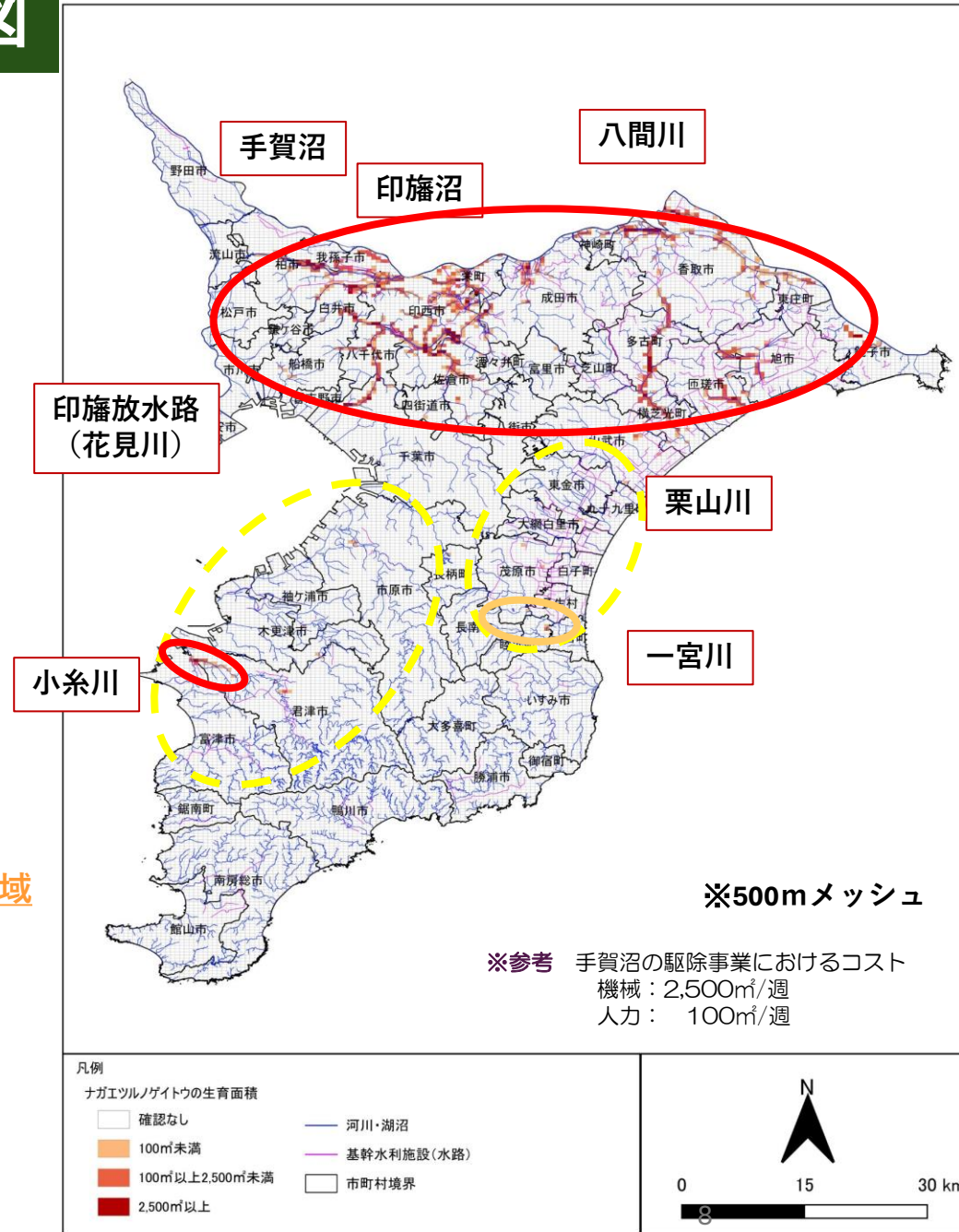
- 現地調査時点の繁茂状況（3色）
- ※ 調査後、駆除した地域も表示

● 使用データ

- R6年度現地調査結果（調査期間R6年度8～10月）

● わかったこと

- ・ **大規模群落（2500㎡~/メッシュ）がある地域**
 - 千葉県北部
 - 君津地区
- ・ **中規模群落（100～2500㎡/メッシュ）がある地域**
 - 千葉県北部と君津地区 周辺
 - 長生地区 一宮川下流
- ・ **小規模群落（100㎡以下/メッシュ）がある地域**
 - 千葉県北部と小糸川 周辺
 - 外房地域の平野部水路
 - 東京湾に注ぐ河川の中上流

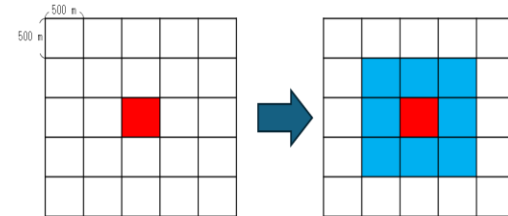


③ 侵入可能性評価図

① 隣接するため侵入可能性があるメッシュ

- ・ナガエツルノゲイトウが確認されたメッシュに隣接するメッシュ

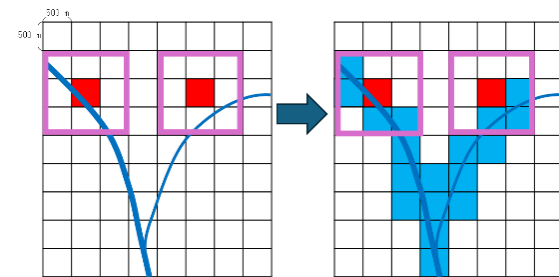
(生育地周辺では、植物の成長に伴う分布域の拡大が懸念されるため)



② 河川流による侵入可能性があるメッシュ

- ・ナガエツルノゲイトウが確認されたメッシュ、隣接するメッシュに河川等の流水域が存在する場合の下流側にあるメッシュ

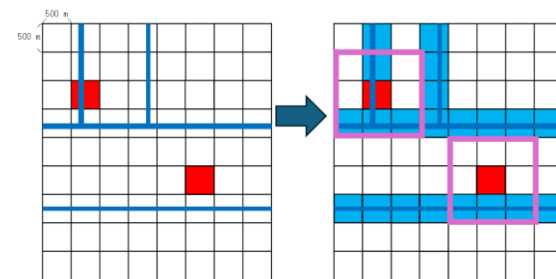
(断片が漂着した下流側の地点が生育地になることで、分布域の拡大が懸念されるため)



③ 水路を介した侵入可能性があるメッシュ

- ・ナガエツルノゲイトウが確認されたメッシュ、隣接するメッシュに水路が存在する場合、その水路につながる全てのメッシュ

(水路は水流の方向が変動することから、水路全域に分布域の拡大が懸念されるため)



今後の対策

1 中規模～大規模に繁茂している地域

→ 優先順位をつけて、とにかく除去し、低密度管理を目指す

2 小規模に繁茂している地域

→ 今後の分布拡大が見込まれるので早期に対応する

→ 小規模なうちに正しい方法で除去し拡大を防ぐ

3 繁茂が未確認の地域

→ 早期発見・早期の駆除ができるように準備

○ 早期発見につなげるため

・ 周知活動（監視の目を増やす） ・ 情報収集（巡視、周辺地域の状況）

○ いざというときの体制づくり（関係者間の役割・連携の確認）



ナガイワノゲイトウ



ポタンウキクサ

みんなでつくろう!



ミスヒマワリ



オオフサモ

ちば 外来水生植物 マップ



ブラジルチドメグサ



オオバナミズキンバイ

開催期間 2025.7.1(火) >>> 11.14(金)

参加方法
アプリをダウンロード



オオカワチシャ

ご清聴ありがとうございました